

名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

NO 948

＜本年度クラブ会長方針＞

LEAD THE WAY - 率先しよう



承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 神田 憲 URL <http://www.nagoya-osu.org> Email office@nagoya-osu.org
 幹事 内藤 明 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337
 事務局 460-0008 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル 6F

2006～2007年度
 R. I. 会長
 ウィリアム B. ボイド

識字率向上月間

第107回例会

於：名古屋東急ホテル
平成19年3月22日(木)

出席計算数 63名中 49名出席
 出席率 77・78%
 前々回出席率 90・48%

オオスシंगाースのお歌

「我が歌」
 指揮者 照井 栞
 ピアノ演奏 富板 玲子



「我が歌」を歌うシंगाース

ゲスト
 米山記念奨学生
 ジラルロンチャイグンティダーさん
 (グレイスさん)



南山大学修士課程 卒業のご報告

ピクチャー

名古屋中RC 立松 洋司さん
 名古屋昭和RC 有本 勝さん

ニコボックス

欠席が続きました、ゴメンナサイ！
 岡部 快圓
 岡部さんの卓話、楽しみにしています。 尾上 昇 前田 隆久
 アーア、入っちゃいました。

春です。

3月19日付 中部経済新聞に「素顔の経済人」として掲載されました。
 木村 光徳
 小澤 幸男
 住田さん御世話になりました、小島さんありがとうございました。 大原 敏正

会長挨拶

会長 神田 憲

今回はかながわ湘南RCの話もさせて頂きます。このクラブはロータリー100周年の記念事業の中で、2780地区が神奈川県内の地区を挙げての協力をして作られたクラブです、いわば地区全体の子クラブです。

創立は2004年12月15日、財団学友(GSE)/財団奨学金(OB)とRotex(青年交換OB)からなるロータリーの恩恵を受けた会員23名で構成されました。平均年齢は38歳、最年少は26

歳です(女性12名)。

当時のRC会員組織コーディネーターの小沢PDGの横須賀RCがスポンサークラブになり、自身特別代表になられ発足されました。

因みにこの小沢PDGは次年度RCの理事に就任されます。

例会は金曜日の夜と土曜日の昼に開催し、年会費は7万円と切り詰め食事は約500円(ワイン・パン・チーズ時として生ハム付き)、お腹が充分でない会員は例会終了後、週末の街めぐりだす楽しみもあるとか。

(浅野さんとポルトガルで遊べたRCも同じ環境でした。)

例会ではPCを駆使し、当日出席できない会員のPCでの参加を認めている。

また我々名古屋大須RCと同様自分のクラブ・ソングも作られて歌われているようです。

長年2780地区のガバナー事務所勤務されロータリーを熟知されている「女史」がこの新しいクラブの初代・二代の幹事に就任されました。彼女は1972年に2760地区江南RCがスポンサーになり、財団学友としてフランスに留学された経験の持主です。

地区全体で協力するという新しい考え方でつくられ、また質素

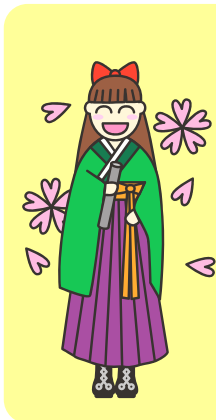
で美のある運営をされている特色のあるクラブです。William B. Boyd(ウィリアム・ボイド)RC会長が4月6日の例会に訪問を予定されています。

グレイスさん

修士課程卒業のご挨拶

こんにちは、今日、みなさんに報告したいことがあります。

まず、この一年間みなさんのおかげで無事修士課程を卒業することができました。本当にありがとうございます。昨日、私は、大学の卒業式に参加して、しかも、私は総代に選ばれ、学長から学位を受け取りました。さらに、博士課程への進学も決まりました。本当にみなさんに感謝しています。



クラブフォーラム

「ロータリーの未来」

パストガバナー岡部 快圓
 ロータリーは1905年2月23日殺伐としたシカゴに於いてポールと3人の友人で、親睦と相互扶助を目的として1業種1人でスタ

ロータリーとして以来、百年の歴史を重ねてまいりました。

この間、多くの問題に遭遇し、奮闘と努力で克服し、現在の哲学と組織と多くの奉仕活動により社会の浄化と世界の平和に貢献し、世界168カ国の地域に広がり、クラブ数2,554、会員総数1,208,566人の2006年9月30日ロータリー公式発表に達しています。



卓話される 岡部快圓PDG

しかし、組織の巨大化と共にロータリーらしさが失われようとしています。親睦を深める為には本音で語り合う必要があり、その為利害関係を排除する目的で決めた1業種1人が5名まで、あるいは会員数の10%となり、「入りて学び、出て奉仕せよ」の例会がサイバークラブの出現により、その目的が大きく変化しようとしています。

例会は純粹親睦を養い、奉仕の勉強と訓練をし、その成果を家庭で、職場で、地域社会で、世界で実践して行へるのが目的です。

今、クラブの価値が「どんな人を創ったか」ではなく、「どんな人な奉仕活動をしたか」によって評価されています。米山梅吉氏が「ロータリーは人生の道場」と喝破された精神は何処に言っていますか。

特にロータリーの専売特許である職業奉仕が置け去りにされ、道徳律とロータリー職業奉仕委員会の廃止により、他の奉仕団体との相違点がなくなろうとしています。又、組織面におけるロータリーの問題点について、

1、アメリカを中心とした 会長選出

過去20年でアメリカ出身の名 The Rotary Center - World Headquarters

2、ロータリーの権限強化

3、理事会の権限強化 理事会決定の乱用

4、事務職員の高齢化 肥大化 中央集権化

5、アメリカ流儀に押し付け、 英語中心主義

今後将来に向かつて

1、職業奉仕理念の再確認

2、職業奉仕実践方法の再構築

3、理念の研鑽(奉仕活動実践の調和)

4、実践活動への積極的参加

5、例会の重要性の認識

6、実践活動に関する クラブの権利と責任

魅力あふれるロータリー・ライフを楽しむことが必要ではないでしょうか。ロータリー未来戦略の 2000地区 POG 田中 毅



職業奉仕委員会 委員長 近藤浩一郎

ロータリー創刊(6) 「己の標語」

われわれの身分証明書に、「超我の奉仕」という言葉が書かれてあります。「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者」最も多く報いられる。この二つがロータリーのモットーです。また、「超我の奉仕」です

がこれは英語では「Service Above self」といいますが、「最もよく奉仕する者」最も多く報いられる。英語では「He profits most who serves best」といいます。

これはロータリー1年オレゴン州ポートランドにおける第2回の年次大会において、前者はミネソタ州ミネアポリスロータリークラブの会員フランク・リンズが、後者はイリノイ州シカゴロータリー

クラブの会員アーサー・シエルドンが唱え、のちの1950年の「イトロイト大会」で正式にロータリーの標語として選択されたものである。現在第一標語が「超我の奉仕」といいます。

先づ「Service Above self」ではなく「Above」ではなく「Not」であったのである。「Not」を置かなければならぬ。「Not」は「self」を「自己」を意味するだけなく、「自我」の意を持つ「ego」でもある。従って「Not self」は「自己」を完全に無視するのではなく、人間の本能である自己の利益の追求だけに没頭することなく、自分は正当な利益だけを求め、先ず奉仕せよといっている。後「Above」と変えられたのはその辺りの意味を明らかにするためと思われる。

この標語を「我身よりはまず奉仕」とも訳したい。日本ロータリーの始祖米山梅吉先生は「サーブス・サー」の第二と訳されています。次「He profits most who serves best」は「Profits」は「Service」の本来的に得ないものである。「Profits」方はなるほどある程度の量的観念であるが、もしそれが精神的満足であるとするならば、量的に表現することはできない。精神といつすに計る尺度のないものが多い少ないの

比較はできない。要するにこれら2つの標語には何等矛盾はないのであって、量的観念を表すのではなく、順序を示すものと考えればよいのである。「一言いふに、まず奉仕を優先せよ」といいます。

「Not self」は「自己」を完全に無視するのではなく、人間の本能である自己の利益の追求だけに没頭することなく、自分は正当な利益だけを求め、先ず奉仕せよといっている。後「Above」と変えられたのはその辺りの意味を明らかにするためと思われる。

「He profits most who serves best」は「Profits」は「Service」の本来的に得ないものである。「Profits」方はなるほどある程度の量的観念であるが、もしそれが精神的満足であるとするならば、量的に表現することはできない。精神といつすに計る尺度のないものが多い少ないの



3月29日(木)例会の御案内

休 会 *定款第9条第3節による

プリンセス委員会 山口 正孝 神野 邦利・大原 敏正